

次は「13 : 00」より

プログラム4

「だからこそ青森県で学ぶ」

(青森県)



2020年度東北教育旅行セミナー

だからこそ**学びの森・青森**で学ぶ

2021.1.21

お〜きく息を吸おう。

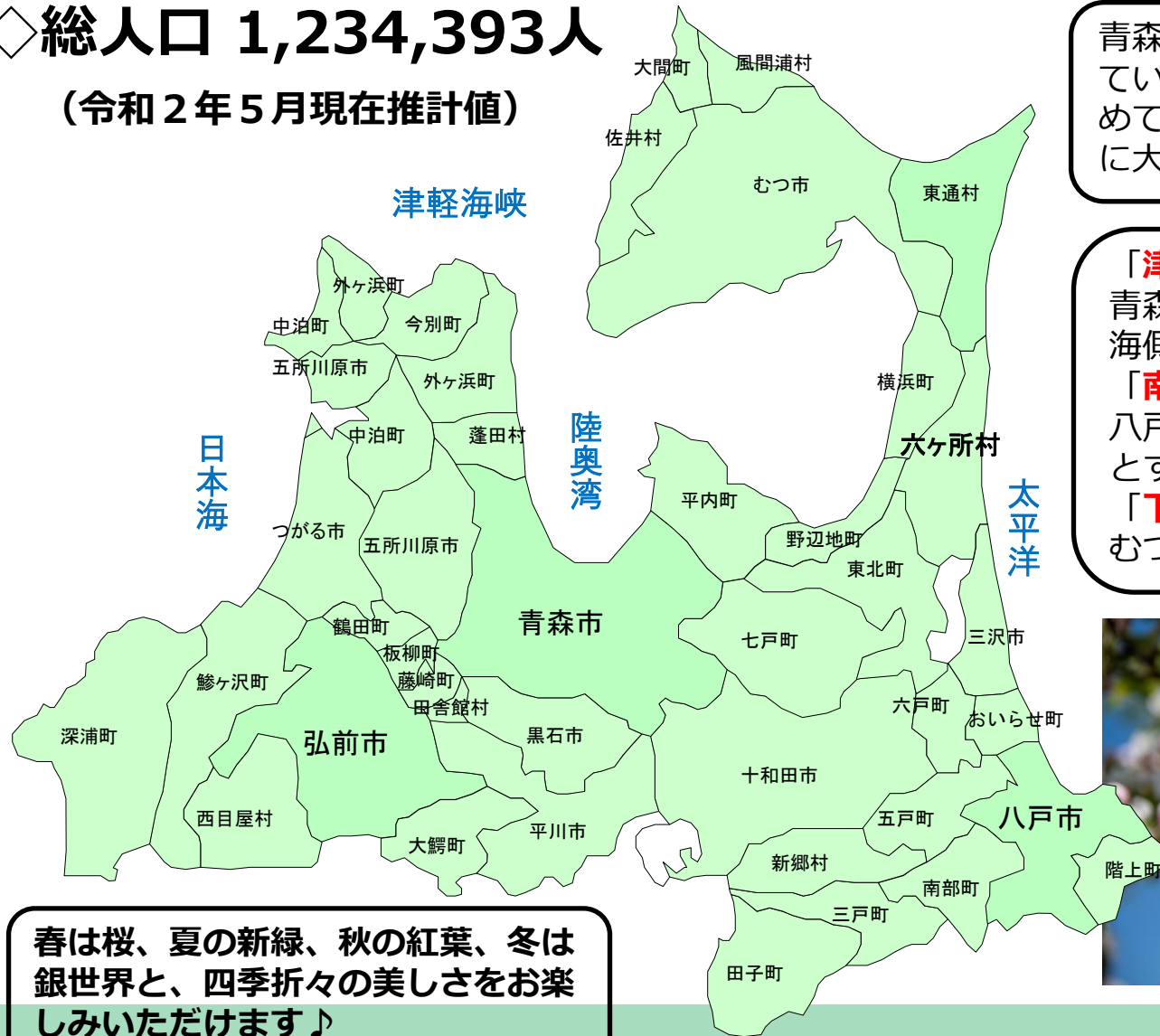


学びの森・青森はこんな場所です



◇総人口 1,234,393人

(令和2年5月現在推計値)



青森県は、江戸時代に津軽氏が治めていた「**津軽地方**」と、南部氏が治めていた「**南部地方**」の2つの地域に大きく分けられます。

「津軽地方」

青森市や弘前市を中心とする日本海側地域

「南部地方」

八戸市や十和田市、三沢市を中心とする太平洋側地域

「下北地方」

むつ市を中心とする下北半島地域



春は桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬は銀世界と、四季折々の美しさをお楽しみいただけます♪

お〜きく息を吸おう。
青森県

※各区間の所要時間は最速時間

札幌駅→＜スーパー北斗（3時間11分）＞→新函館北斗駅

新大阪駅→<のぞみ（2時間25分）>→東京駅

札幌→(50分)→**青森**

札幌→(60分)→三沢

東京→(80分)→青森

東京 → (80分) → 三沢

名古屋 → (80分) → 青森

大阪→(90分)→**青森**

大阪→ (90分) →**三沢**

神戸 → (100分) → 青森



各エリアへのアクセス時間

<車両を利用して移動した場合の目安時間>

新青森駅～三内丸山遺跡：約10分

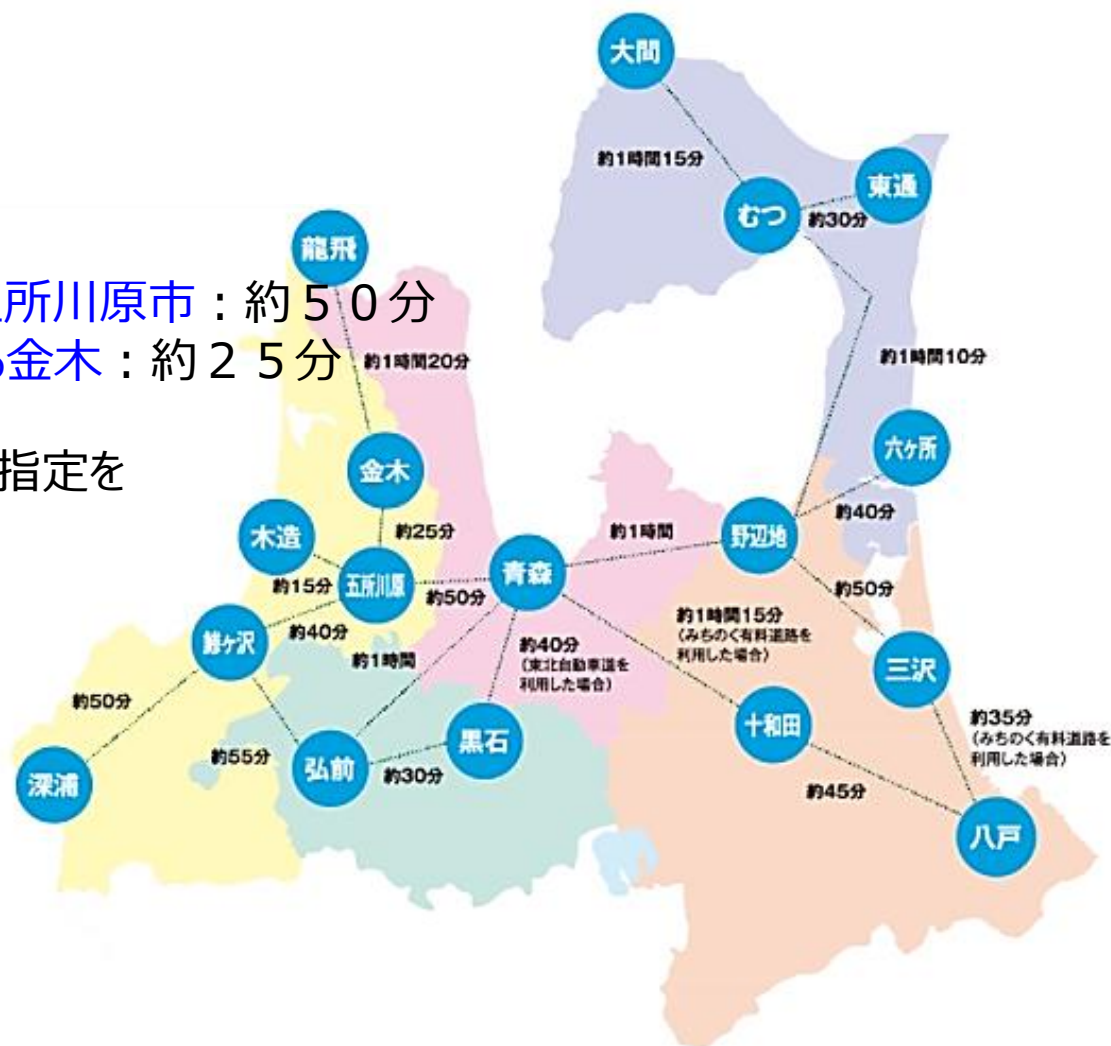
新青森駅～白神山地：約2時間

新青森駅～弘前市：約60分

新青森駅～立佞武多で知られる五所川原市：約50分

五所川原市～太宰治の生家がある金木：約25分

八戸駅～「三陸復興国立公園」の指定を受けた種差海岸：約30分



- 青森・浅虫温泉周辺
- 弘前・黒石周辺
- 奥津軽・白神山地周辺
- 十和田・八戸周辺
- 下北半島周辺

「学びの森・青森」は、お〜きく深呼吸のできる場所です



種差海岸



奥入瀬溪流



白神山地

お〜きく

息を吸おう。



豊かな学習活動のための体験プログラムをご用意しています

12の体験テーマ



テーマ1

青森の祭り：ねぶた・ねぶたを学ぶ



テーマ3

縄文の歴史を学ぶ



テーマ5

人と自然の共生を考える



テーマ7

青森の雪とふれあい、冬を楽しむ



テーマ9

青森で芸術を学ぶ



テーマ11

りんご産業を学ぶ



テーマ2

津軽の伝統芸能：津軽三味線を学ぶ



テーマ4

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ



テーマ6

十和田湖・奥入瀬溪流・八甲田の自然を観察する



テーマ8

エネルギーと科学について学ぶ



テーマ10

青森の文学：太宰治・寺山修司を学ぶ



テーマ12

ふれあって感動する～農作業体験と農家民泊～
(津軽地域／県南地域)

「生きる力」を育む教育旅行をサポート

青森県の地域性を活かし、祭り、伝統芸能、歴史、自然と環境保護、エネルギー問題、芸術や文学、産業体験など多彩な12のテーマで体験プランを提案いたします。

体験プランの一例 「青森の祭り：ねぶた・ねぶたを学ぶ」



あおもり市民ねぶた実行委員会／制作者 北村 麻子



夏の夜に煌々と輝くねぶた・ねぶたの灯に込められた、青森の人々の想いとは？

<学習のねらいとその効果>

- (その①) 青森の伝統的な祭り「ねぶた・ねぶた」に触れることで、地域の歴史、生活文化、祭りに込められた人々の想いを学ぶ。
- (その②) 青森の祭りについて学びを体験することを通じて、風土に根ざした地域文化への関心と理解を高める。
- (その③) ねぶたの運行体験を通じて、達成感や感動、「ねぶた」のパワーを感じるとともに役割分担と協力の大切さを学ぶ。



体験プランの一例 「青森の祭り：ねぶた・ねぶたを学ぶ」

ねぶた・ねぶたを実際に見て歴史や製作工程を学び、ハネト・囃子方・曳き手に分かれての運行体験、囃子演奏を体験します。伝統文化への関心を深め、想像力や工夫する力を養うとともに、協力して事を成し遂げる達成感と感動を得ます。

立佞武多の館

展望ラウンジ「春樹」や物産ホール「花しょうぶ」でお土産購入や食事も可能。



①立佞武多展示室 (40分)

大型スクリーン上映で祭りを体感。
高さ20mを超える立佞武多を見学。



②立佞武多製作所 (40分)

作業時期に応じて、実際に出陣する立佞武多の製作参加体験。



③遊樂工房「かわらひわ」(45～90分)

立佞武多の紙を再利用したうちわなどの製作体験。

ねぶたの家 ワ・ラッセ

①学習教材DVD鑑賞(約15分)

ねぶたの1年がわかる映像を鑑賞。



②太鼓体験(約20分)

実際に太鼓をたたいたり、音に合わせて跳ねたりします。



③ねぶたミュージアム・ねぶたホール見学(約20分)

ねぶたの歴史、製作技術や題材の移り変わりを学び、実際に出陣したねぶたを見学。



④ワ・ラッセ工房(60～90分)

ミニ金魚ねぶた、ミニねぶた面色付けなどの制作を体験。



津軽藩ねぶた村

①弘前ねぶた館見学(約30～45分)

高さ10mの大型ねぶたと内部の骨組みを見学。
笛と太鼓のお囃子を鑑賞。太鼓演奏も可能。



②民芸品製作体験(90分)

金魚ねぶたや津軽煎などの製作体験。

浅虫温泉ねぶた運行体験

①跳人・囃子・
曳き手の
役割を分担
(約10分)



②運行出発地点
へ集合
(2～3分)



③浅虫温泉
ねぶた2台を運行
(小雨決行)
(約60分)



各宿泊先へ



ねぶたの運行は、お祭りの期間を限って、毎月1回、1人1台と一組に決まり、祭りの準備と実行を体験できる。

体験プランの一例 「世界自然遺産「白神山地」を学ぶ」



「白神山地」が世界遺産に登録された理由とは何だろう？

<学習のねらいとその効果>

- (その①) 自然界の共生や水の循環など、多岐にわたるブナ林の役割を学ぶ。
- (その②) 山や海と人との関わりを学び、自然保護と環境保全の意識を高める。
- (その③) 自然の偉大さ、生命力を体感することで、自然の生命に対する感謝の心、尊敬の気持ちを養うきっかけを作る。
- (その④) 今後の自然環境の保護と活用を考えるきっかけとする。
- (その⑤) 将来の日本の林業や地球環境問題など考えるきっかけとする。



体験プランの一例 「世界自然遺産「白神山地」を学ぶ」

白神山地ビジターセンターでは、白神山地の四季、生態系、人との関わりなど、大型映像や資料展示を見学しながら学習します。トレッキングでは、白神山地の生態系を間近に観察することで、圧倒的な迫力を持つ大自然を体感します。

アクアグリーンビレッジANMON

(トレッキング 5月頃～10月頃)

半日コース

長靴に履き替えた後、解説員の道案内で白神山地をトレッキングします(解説員1名につき、学生10～13名に対応します)。トレッキングは、グループに分かれて各解説員とともに出発し、終了後は全員でトレッキングの成果をふり返ります。

1日コース

アクアグリーンビレッジANMONで昼食をとった後、長靴に履き替え、解説員の道案内で白神山地をトレッキングします。終了後は、全員でトレッキングの成果をふり返ります。

トレッキングの雨天時の対応:
救急法の実習や野外活動に対応可能な
ザイルワークの実技が可能です。



【服装の注意】
虫除けのため、長袖・ズボン着用。また季節により防水具等の上着が必要。

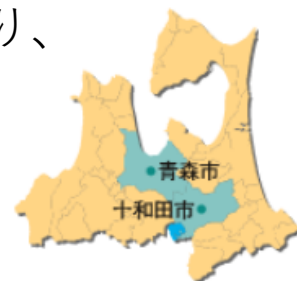




大きな自然は小さな自然が集まってできている！

＜学習のねらいとその効果＞

国の特別名勝及び天然記念物として指定されている奥入瀬溪流の景観を、視覚的鑑賞に留めることなく、八甲田大噴火というダイナミックな地学史から始まり、多様な生命が渾然一体となって創り出したその上質な景観の成り立ちを、
「コケ」という小さな自然を切り口にすることにより学ぶ。



その他おすすめの体験メニュー 「苔から始まる奥入瀬体験」

体験メニュー

レクチャー（20分）：自然形成のストーリーを知る

奥入瀬溪流の成り立ちとコケについて簡単に分かりやすく説明します。

コケの観察（50分）：小さな自然を観察する

ルーペを使いガイドと共にコケの小宇宙の世界を楽しくのぞきます。

奥入瀬溪流散策（50分）：大きな自然を体感する

国立公園に指定されている奥入瀬溪流をガイドの説明を聞きながら散策することで、自然界の営みを体感します。

コケ玉作り（50分）：自然の成り立ちを創作する

奥入瀬溪流に点在する「苔むした岩」をこけ玉に見立て、小さな奥入瀬を表現することで、コケで成り立つ自然を創作体験します。



【歴史・美術】縄文の歴史を学ぶ

～縄文文化のイメージを覆したと言われる遺跡の数々とは…！？～

特別史跡 三内丸山遺跡（青森市）

令和元年12月20日、世界文化遺産推薦決定

青森県立美術館に隣接。縄文時代前期～中期(約5500年前～4000年前)の大規模な集落跡を復元し、竪穴式住居や掘立柱建物、高床式倉庫などが見学できます。

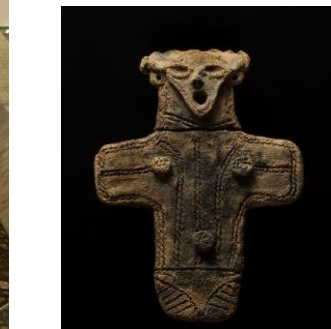
遺跡内にある新展示室では、出土した土器の接合や復元、実測といった一連の作業を見学できます

Point 新展示室内の『縄文ビックウォール』

👉 発掘現場を彷彿とさせる迫力と存在感



日本最大級の縄文集落の遺跡を巡りながら、縄文時代の生活の知恵を学ぶ



古代人の暮らしから自然と共存することへの意味を考えます。



本物の土器のかげら

これからの社会で求められる力とは…！？

「思考力・判断力・表現力等とは」(文科省答申より)

将来の予測が困難な社会の中でも、未来を切り拓いていくために必要な力は、思考力・判断力・表現力等である。思考・判断・表現の過程には、大きく分類して以下の三つがあると考えられる。

☑ **物事の中から問題を見だし、その問題を定義**し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決をつなげていく過程

☑ 精査した情報を基に**自分の考えを形成し、文章や発話によって表現**したり、目的や場面、状況等に応じて**互いの考えを適切に伝え合い**、多様な考えを理解したり、**集団としての考えを形成**していく過程

☑ 思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく過程

(文部科学省 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)中教審第197号)

今後求められる“力”

・自ら問いを立てる**力** → 課題設定能力

・他者と協働し、多様な価値観・考え方から一つの合意を導きだしていく**力** → 合意形成能力

「**深**」探求ツアープログラム

伝統文化

農業

伝統工芸

造園

まちづくり

エネルギー

公共交通

こんな声にお応えします！

- ★学習にポイントをおいた校外学習をしたい！
- ★**総合的な学習(探究)の時間**を充実させたいが、企画する時間がなく、何をやっていいのかもわからない。
- ★**SDGs**を学習したい！
- ★**探究学習**をもっと取り入れたい！
- ★**思考力・判断力・表現力を鍛えたい！**
- ★内申書、面接、小論文に対応する経験を用意し、**入試改革**に対応したい
- ★**キャリア教育**をより充実させたい



「深」探求ツアープログラムの魅力



①課題設定能力



- ★リアルな社会から生の情報を収集・編集・整理
- ★自分はどんな状態を理想と考えるのか
- ★理想のための課題は何か

生きた思考力が培われます！



③地域課題を考える



- ★日本の多くの地方地域が直面する過疎・人口減少を中心に広がる問題を体験

産業、エネルギー、公共交通、まちづくり、祭、伝統工芸など多様なテーマが揃う！



②合意形成力



- ★共通体験の上でも、自分と他者で考えや価値観が異なることを体験
- ★他者と取り組むことで、自分1人では到達できなかった創発を体験

他者との協働を学びます！



④地域の人が学びをサポート



- ★プログラムには学生、農家、主婦、地元企業人、地域おこし協力隊など、青森の住民が参加し、学生の学びをサポート

**★地域の人と交流できる
現地の人と交流できます！**

「課題設定能力」と「合意形成能力」を身につける

「深」探求プログラムの特徴

 **スタディツアー**
2～3時間

講義/工場見学/まちあるき体験/工芸品製作・・・

+

 **ワークショップ**
3時間

4～5人の少人数グループで、ファシリテーターも加え、フレームに沿って議論、最後に発表する

・地域課題に触れる

(観光では触れないマイナスの部分)

・見て、聞いて、考えて、自ら言動に移す

(受け身で終わらない)

・少人数グループ

(発言の場をつくる)

・ファシリテーター

(大学生や社会人のアドバイス)



【実際のツアーをみてみよう！】

りんご産業全体の可能性や未来を考えるツアー

～地域の特徴を活かした産業づくりで地域を支える～



ミッション

板柳町のりんご産業全体のさらなる可能性を考えよう！

板柳町りんご産業が抱える問題

シーズンに応じた
人手確保

国内需要低下による
出荷数減少

黒星病の感染

加工品の
販路確保

板柳町りんご産業

りんごの盗難

スタディツアー

りんご作業体験

受粉/実すぐり/収穫など



りんご貯蔵庫見学



りんご加工所見学

ジュース/ジャム/染物など



りんご農家講演

歴史/生産と消費/後継者



スタディツアー

りんご箱工場見学

(りんご箱の流通)



ミニりんご箱製作体験

(くぎ打ち体験/ラッピング/土産)



りんご箱の新利用提案、農作業道具の新たな需要

りんご箱のインテリアとしての再利用など



* スタディツアーとワークショップの日をまたぐ場合は、ここで民泊など *

ワークショップ

- ・ファシリテーターも交じり、①～④のフレームに沿って議論をすすめる。
- ・関係者、ポジティブorネガティブ、理想状態に至らない現状の課題は？

②理想の状態を描く

③ **課題**を設定する

④ 解決策を考案する

①現状を整理する



課題設定のプロセス

- ① “地域課題(社会課題)の現場”で獲得した情報を整理し、構造化する
- ② 理想の状態を描く
- ③ 現状と理想状態のギャップ(課題)を設定する
- ④ 課題の解決策を考える

発表

ミッションについて、ワークショップで話した内容を
①～④の順の過程に沿って発表する。

質疑応答も行う。



青森で活躍する多様な大人と出会える

青森の課題解決に取り組む ツアー先の大人たち



- ・衰退してしまった地元観光地の再興を目指し、様々なアプローチでまちを牽引するNPO代表
 - ・自らも職人として活躍しながら、津軽塗の制作会社を経営する代表
- 世界自然遺産白神山地のガイド、伝統を守りつつ新しい事業の取組を行う造園業者、 など



▶ 地域の人がファシリテーターとしてツアーに同行

生徒の学びを促すため、そして一層地域やテーマについて実感を生徒に感じてもらうため、地域の人が交流やファシリテーションを行います

同行者例：弘前大学学生、地域のNPO職員、地域おこし協力隊、農家、主婦、自治体職員 など

青森で深く学ぶ

青森県「深」探求プログラム

◆ 問いを解く力から、問いを立てる力へ

～社会で求められる力の変化～

- ・課題設定能力（自ら問いを立てる力）
- ・合意形成する力（多様な価値観、考え方から1つの合意を導き出す力）

◆ 課題設定能力と合意形成する力を育成するプログラム

～社会で求められる力を形成するために～

この2つの力を形成するために、「スタディツアー」と「ワークショップ」がセットになったプログラムを提供しています。スタディツアーで獲得した原体験や一次情報をもとに、ワークショップで課題設定、合意形成を行います。

青森県の新型コロナウイルス感染症対策

◆「あおり観光新型コロナ対策推進宣言施設」登録制度

「あおり観光新型コロナ対策推進宣言施設」 登録制度とは・・・

新型コロナウイルスの感染防止対策を自主的に実施する観光事業者の取組を促進し、受入環境の整備を行うとともに、その内容を利用者や観光関連事業者に「見える化」することによって、観光客が安心して施設を利用できる環境をつくることと、国内外の旅行エージェントによる旅行商品の造成促進や、誘客プロモーションでの利用等を目的とした制度です。



#aomoriovation
#あおりを守ろう